

|   |                             |  |   |
|---|-----------------------------|--|---|
| 卒業必修  | 保育士必修                       | 幼稚園教諭必修  | 選択(卒業/保育士/幼稚園教諭)                                      |
| 授業科目名：音楽Ⅳ<br>英語表記：MusicⅣ<br>ナンバリング：2328   |                             | 単位数：1単位<br>(半期) 演習   | 担当教員名：瀬戸奏、小川弥輪、<br>浅見彩賀、野本裕美子<br>担当形態：クラス分け、<br>オムニバス |
| 科目/系列   | 大学が独自に設定する科目/保育の内容・方法に関する科目 |  |   |
| 施行規則に定める科目区分<br>または事項等/教科目  | /                           |  |   |
| <b>【授業の到達目標及びテーマ】</b><br>1. 弾き歌い3曲と独奏曲1曲をレパートリーとし、その中の1曲を演奏発表できる。<br>2. 曲にあったコードがつけられ、伴奏形が工夫できる。<br>3. 保育・教育現場でよく使われる曲を自由に伴奏できる。  |                             |  |   |
| <b>【授業の概要】</b><br>1. 合同授業 「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」「音楽Ⅲ」で学んだ内容をもとに、保育・教育現場でよく使われる曲を自由に伴奏できるようになる。コードネームによる伴奏法を発展させ子どもの表現活動を導く即興演奏ができるようになる。<br>2. 個人レッスン 幼児教育の為に必要とされるピアノ演奏の基礎技術と知識の習得を目指し、学生一人一人のレベル、能力に合わせてマンツーマンでレッスンを行う。   |                             |  |   |
| <b>【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】</b>  |                             |  | 関連性   |
| <b>【知識・理解・技能】</b>   |                             |  |   |
| 1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。   |                             |  | ○   |
| 2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。  |                             |  |   |
| 3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。  |                             |  | ○   |
| <b>【思考・判断・表現】</b>   |                             |  |   |
| 1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。   |                             |  |   |
| 2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。   |                             |  |   |
| 3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。  |                             |  | ○   |
| <b>【関心・意欲・態度】</b>   |                             |  |   |
| 1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。  |                             |  |   |
| 2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。  |                             |  |   |
| 3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。   |                             |  |   |
| <b>【授業計画】</b><br>授業90分のうち、45分を合同授業（担当：瀬戸）、<br>45分を3クラスに分けて個人レッスン（担当：小川、浅見、野本）<br><br><合同授業><br>第1回：オリエンテーション・コードネームの復習<br>第2回：コードネームによる伴奏法の応用（ハ長調課題）<br>マンツーマンによるレッスン<br>第3回：コードネームによる伴奏法の応用（ト長調課題）<br>マンツーマンによるレッスン<br>第4回：秋の歌 模擬授業<br>マンツーマンによるレッスン<br>第5回：コードネームによる伴奏法の応用（ヘ長調課題）<br>マンツーマンによるレッスン<br>第6回：コードネームによる伴奏法の応用（ニ長調課題）<br>マンツーマンによるレッスン<br>第7回：コードネームによる伴奏法の応用（まとめ） |                             | <b>【授業時間外の学習】</b><br><br><合同授業><br>授業で課題となった曲の練習を行うこと<br>・コードネーム課題の練習<br>・模擬授業のための練習<br>・移調課題の練習<br>・編曲課題の練習<br>・メッセージソングの練習<br>・発表会のための練習<br><br>コードネームに関する配布資料をもとに、楽譜の制作を行うこと<br><br>（毎回1時間） |   |

|   |  |
|---|--|
| <p>マンツーマンによるレッスン</p> <p>第8回：移調の方法<br/>マンツーマンによるレッスン</p> <p>第9回：冬の歌 模擬授業<br/>マンツーマンによるレッスン</p> <p>第10回：模擬クリスマスコンサートの実施<br/>マンツーマンによるレッスン</p> <p>第11回：編曲法について<br/>マンツーマンによるレッスン</p> <p>第12回：編曲した曲の発表<br/>マンツーマンによるレッスン</p> <p>第13回：メッセージソングの練習<br/>マンツーマンによるレッスン</p> <p>第14回：模擬卒園式（メッセージソングの発表）<br/>マンツーマンによるレッスン</p> <p>第15回：伴奏付け まとめ<br/>マンツーマンによるレッスン</p> <p>定期試験：実技（「音楽IV履修者によるピアノ発表会」）</p> | <p>&lt;個人レッスン&gt;<br/>毎回のレッスンで課題となった曲の練習<br/>（毎日10分程度、1週間に合計1時間以上）</p> |
| <p><b>【授業の方法】</b><br/>合同授業と個人レッスン（ピアノ実技指導）。合同授業では課題コメントを入れてフィードバックを行う。個人レッスンでは一人ひとりの進捗、練習に合わせてフィードバックを行う。</p>   |  |
| <p><b>【テキスト】</b><br/>合同授業 『こどものうた100』小林美実監修 チャイルド社<br/>個人レッスン レベルに合わせて選曲</p>  |  |
| <p><b>【参考書・参考資料等】</b><br/>合同レッスンではコードネームに関する資料や楽譜を紹介する。<br/>個人レッスンでは個人のレベルに合わせた曲を紹介する。</p>  |  |
| <p><b>【学生に対する評価】</b><br/>合同授業内の課題遂行と提出（20%）、模擬授業発表（20%）、授業参画度（受講上の注意を守る）（10%）、課題曲の習熟度（ポートフォリオ配布）と実技試験（50%）。<br/>※ルーブリック評価表を学生が確認できるように開示し、それに基づいて評価を行う。</p>   |  |
| <p><b>【履修上の注意】</b><br/>個々にレベルアップを目指し、練習をしてレッスンに臨むこと。</p>  |  |
| <p>実務経験の有無：無</p>  | <p>実務経験：</p>   |
| <p><b>【実務経験を生かした教育内容】</b></p>   |  |